

財政健全化に関する市民との意見交換会等の 開催状況及び当日の意見について

1 開催状況

(1) 各地域における市民との意見交換会

10月29日(火)から11月3日(日)にかけて、市内6箇所(朝霧、明石、西明石、大久保、魚住、二見)において開催し、合計181名の方にご参加いただきました。

(2) あかねが丘学園での意見交換会

11月12日(火)及び11月13日(水)に、あかねが丘学園(本校、分校)において、開催し、合計85の方にご参加いただきました。

2 市からの出席者

高橋副市長、財政健全化担当部長、財務部長、ほか財務部職員

3 当日の主な意見について

(1) 各地域における市民との意見交換会

① 事業見直しについて

- ・ 敬老会は記念品配布等の負担が大きいので見直してほしい。
- ・ 敬老優待乗車証はバス・タクシーの選択制にするなどして継続すべきである。
- ・ 高齢者施策は見直すのではなく充実を図るべきである。
- ・ 子ども、子育てのための施策を充実してほしい。
- ・ がん検診について、工夫して受診率を高めるべきである。
- ・ 学校警備員は、安全確保のために必要である。
- ・ 保育所巡回警備及び学校警備員は、スクールガード等を活用することで見直せる。
- ・ 商店街の助成を継続するなど、商業、産業の活性化を図ってほしい。
- ・ 住宅リフォーム助成は継続すべきである。
- ・ 観光振興の取り組みを充実してほしい。
- ・ 再生資源回収団体への助成の見直しで回収量が低下しないようにしてほしい。
- ・ 人権施策の見直しを図るべきである。
- ・ 平和映画会については継続してほしい。
- ・ コミュニティバス(たこバス)を充実してほしい。

② 施設について

- ・ 西明石に主要な公共施設がないので、集会所機能等を設置してほしい。
- ・ 市役所を移転する場合は、市の中央部へ移転すべきである。
- ・ 市営住宅は、民間の住宅を借り上げて提供することで費用を削減できる。
- ・ 厚生館は自治会館として地域に移管すべきである。
- ・ 施設を有効活用し、削減された費用を福祉に活用すべきである。

③ 財政健全化について

- ・未収金の徴収など歳入確保の取り組みが非常に重要である。
- ・類似の事業の統合など事務の効率化を進めるべきである。
- ・職員数及び職員給与を削減すべきである。
- ・報酬及び定数を含め議会経費を削減すべきである。
- ・公有財産を有効活用してほしい。

④ その他

- ・明石駅前再開発に多額の費用をかけるのではなく、福祉など他の施策に回すべきである。
- ・意見交換会の意見の反映状況を市民にフィードバックし、継続的に実施してほしい。
- ・今後のビジョンや新たな施策を示して議論すべきである。
- ・人口の維持を図るため、福祉施策の充実、若い世代を呼び込むための事業などの対策を講じるべきである。

(2) あかねが丘学園での意見交換会

① 事業見直しについて

- ・高齢者の生涯学習全体の中で、あかねが丘学園の方向性を検討してほしい。
- ・保育所巡回警備及び学校警備員はスクールガード等を活用することで見直せるのではないか。

② 財政健全化について

- ・職員給与を削減すべきである。
- ・議員定数を削減すべきである。
- ・新たな事業を立ち上げる際には、終了する基準を決めておくべきである。
- ・市税等の滞納者、生活保護の不正受給者には厳しく対応すべきである。

③ あかねが丘学園について

- ・あかねが丘学園を移転すると、ボランティア活動、クラブ活動が行いにくくなり、また、学園としての一体感を保てるか心配である。
- ・あかねが丘学園のボランティアは市内で高く評価されている。
- ・あかねが丘学園の移転の理由は理解できる。
- ・高齢者の余暇状況調査を実施した上で、今後の方向性を検討してほしい。
- ・あかねが丘学園の授業料を上げればよい。